

# 2019年度 経済学部海外教育プログラム 参加者アンケート

プログラム：英語で学ぶタイの地域開発とツーリズム

2019年度参加者数：14名

<内訳> 経済学科 1回生…7名（経済専攻：3名、国際専攻：4名）

2回生…1名

3回生…6名（経済専攻：4名、国際専攻：2名）

男性 8名、女性 6名

- ※ 複数回答可の項目有り
- ※ 回答漏れ有り
- ※ < >内の数字は回答数

## 1. 応募まで

1) 募集説明会に参加しましたか はい <4> いいえ <1>

2) 本プログラムへの応募動機は何ですか

派遣国 <2> 学習言語 <3> プログラム内容 <5>

参加費用 <1> 実施時期・期間 <3> 体験談・口コミ <1>

その他 <1> （具体的に：ゼミの内容に関連しているから）

## 2. 事前学習

1) 事前に学習しておいて役立ったこと

- ・ タイの文化や実際に訪れる場所の昨年の調査報告
- ・ 英語の勉強
- ・ 食文化や、タイでやってはいけないこと（子供の頭を気軽に撫でる）などを事前に調べておいたおかげで、そういった場面でもトラブルなどには巻き込まれなかった。またタイで流行している病気なども調べていたため予防もすることができた。
- ・ タイの背景知識を学習したこと
- ・ 前年度のレポートの復習

2) 事前に学習しておけば良かったと思うこと

- ・ タイ語
- ・ 英語
- ・ 訪問先の村の情報を調べておくこと
- ・ このプログラムで取り扱うであろう開発経済に関する知識をもっとつけてからフィールドワークに取り組むことでより充実したものにできたと思う
- ・ 専門的な単語、プレゼンの練習

## 3. 現地でのフィールドワーク

1) 特に興味深かった訪問先

- ・ OTOP プロジェクトで実際に成功している村、特にドンカヴィレッジは、虫や織物を高齢者達が生産し、自分達のペースで働きながら収入を得ることができるため、高齢化が進む日本にとって、見習うべきビジネスモデルだと感じた。
- ・ コンケン大学
- ・ Elderly school、認知症の患者を実際に介護している家庭への訪問

- ・ 25日に訪れた農業の訪問先
- ・ Chemical Free Vegetable Growing Cooperative of Samsung district
- ・ Vegetable growing group at Ban Nongtum

## 2) 特に興味深かった文化施設

- ・ サティップ村
- ・ Silla Village
- ・ 寺院
- ・ コンケン大学
- ・ ASEAN library at NIDA

## 3) 行程、移動手段について

- ・ 各班にそれぞれのバンがあり、そのバンで快適に移動することができた
- ・ バンコクとコンケンの移動は夜行バスだった
- ・ 基本的には10人乗りくらいのバンで移動した。Bluetoothを繋げて音楽を聴いたりして非常に快適に移動できた。
- ・ ほとんどが車移動で長かった

## 4) 現地の宿泊施設（ホテル・ホームステイ先）について

- ・ ホテルは大変清潔で快適だった。ホームステイ先では現地の生活が体験できた。
- ・ ホテルは非常に綺麗で快適に過ごすことができたが、部屋によってヤモリやアリが出たりしている所もあった。朝食もついていて。ホームステイ先に関しては寝床にヤモリや昆虫がいたが防虫ネットで対処。
- ・ ホームステイ先では英語が通じなかった。家族の方とコミュニケーションを取りたかった。最初のホテルはシャワーが水しか出なかった。
- ・ ホテル：部屋の中は綺麗だったがお湯が出ない日が多かった  
ホームステイ：扇風機、水のシャワーだったがとても良い思い出になった

## 4. 引率者

### 1) コンケン大学教員・学生

- ・ 現地のスタディーツアー中にタイ語しか話せない施設の方々の通訳をして下さったりした
- ・ とても親切でわからないことがあると色々な手段を使って教えてくれた。とても素晴らしかった。

### 2) NIDA 教員・学生

- ・ 学生は積極的に話しかけてくれたり、現地のことをよく教えてくれたりした

### 3) その他の同行スタッフ・教員・学生など

- ・ みんな親切だった

## 5. 現地の環境

### 1) 食事

- ・ KKU 中にはとても安価で美味しい屋台がたくさんあって、市内に出れば日本食をはじめとする数々の種類の食事を食べることもできた
- ・ 全ての料理が辛いわけではなかった
- ・ 価格は非常に安く、日本人でも楽しめるメニューは沢山あった。しかし非常に辛い料理も多くあり、それらには気をつけなければならなかった。米類から麺類まで様々な料理があった。農村によっては昆虫や蚕などが食事として提供される場合もあるので知っておいた方が良いと思う。

- ・ ナイトマーケットに行って食事に行くことができ良かったし満足した。しかし夕食代が旅費に含まれていないことを事前に教えてもらいたかった。
- ・ 辛いものが多かったが辛い料理も用意されていた
- ・ 辛い食べ物が多いので、苦手な人は事前にタイの人に確認した方が良い。フルーツが多い。コーヒープレイクというおやつ時間が頻繁にあるので、基本的にお腹が空いている感覚はなかった。訪問先で食べた「ソムタム」という伝統料理が美味しかった。また、虫を食べる体験も可能。

## 2) 気候

- ・ 8月23日のKKU 付近の気温は28度で、同じ日の東京は33度で、東京に比べて5度も涼しく全体的に日本よりも過ごしやすく感じた
- ・ 日本の9月よりも涼しかった
- ・ タイの気温は25度から30度くらい、湿度に関しても75%ほどで、体感日本とあまり変わらなかった。しかし空調設備のない所や逆に冷房が効き過ぎているなど自分での体温調節が必要になる場面が多かった。
- ・ バスの中はとても寒かった。現地ではクーラーとかの設備も整っていて過ごしやすかった。
- ・ 雨季で蒸し暑かったが日本よりは涼しかった
- ・ 屋外：日本とあまり変わらない。蒸し暑い。  
室内：強力な冷房が効いているので長袖が必要

## 3) その他コメント、次年度参加者へのアドバイス等

- ・ 日本よりも過ごしやすく、室内などはかなり空調が効いているため、上から羽織れるものを持って行くべき。
- ・ タイの人はすごく優しい
- ・ ホームステイ先での生活は昆虫やヤモリなどが多く、苦手な人には辛い環境かもしれないので覚悟しておいた方が良いと思う
- ・ トイレに行く時はトイレットペーパーがない所があるので、ティッシュなどを用意する必要がある
- ・ バンコクからコンケンへの移動が特に寒いので、寒がりの人は長袖を何枚か重ね着できるようにしておいた方が無難（個人的には3枚着用）。

# 6. プログラム参加前後の変化

## 1) タイへの理解

- ・ 2週間という短い期間ではあったが、現地の学生と生活することで理解が深まった
- ・ 実際に行ったことで理解が深まった
- ・ タイから学ぶことのできるが多々あり、行く前と後でタイへの見方が変わった
- ・ 現在のタイの発展状況
- ・ タイの文化に対する理解が深まった
- ・ バンコクとコンケンの違いを知ることができた。日本よりも熱心な仏教徒が多く、托鉢（たくはつ）を行う機会もあった。タイ人の大らかな人柄を知ることができた。出会ったタイ人は親切で皆良い人だった。

## 2) 身についたこと

- ・ 現地で質問する力や、英語でプレゼンする力が身に付いた
- ・ 英語で質問する力
- ・ 訪問先への所要時間や気温、湿度、高度などを細かく記録することの大切さを学ぶことができた。また自分の考えでなく事実に基づく報告の大切さを理解することができた。
- ・ 何事にも挑戦する気持ちと積極性
- ・ 語学力やプレゼン能力

- ・リスニングカ、プレゼンカ、辛い食べ物への耐性

## 7. 費用・持ち物・その他

### 1) 費用について

#### ①今回のプログラム費以外に現地で使った金額：

日本円 約1.5万円相当 <1>、2万円相当 <3>、2.5万円相当 <1>、3万円相当 <1>

#### ②持参した金額

日本円 約1~2万円相当 <2>、3万円相当 <3>、6万円相当 <1>

→ 十分だった <6>、足りなかった <0>

#### ③お金はどうやって持参しましたか（複数回答可）

日本円現金 <6>          クレジットカード <3>

現地通貨現金 <1>          国際キャッシュカード <0>

#### ④お金・両替・現地通貨について

- ・クレジットカードはあまり使うタイミングがなかった。ほとんどが現金払いだった。
- ・タイのスワンナプーム空港で一度両替をした
- ・日本円を現金で持参し現地の空港でまとめてパーツに換金した。しかし空港以外で換金できる所がなく、またクレジットカードを使用できない店も多く存在したため、空港で多めに換金した方が良いと思う。

### 2) 持ち物について

#### ①持って行ったほうが良いもの

- ・長袖（飛行機、バス、大学内が冷房で寒いため）
- ・サンダル（洗えるもの）
- ・虫除けスプレー、虫刺され薬
- ・ティッシュ、ウェットティッシュ、トイレットペーパー
- ・洗濯ロープ、ハンガー
- ・モバイルバッテリー

#### ②持って行かなくても良いもの

- ・サングラス
- ・ドライヤー
- ・トイレットペーパー
- ・シャンプーや歯ブラシなどは現地で買える

### 3) 治安等、注意すべき点

- ・タイの学生と一緒に行動する方が良い
- ・農村部でもバンコクでも非常に治安が良く安心して過ごすことができた
- ・野犬が多くいるのでなるべく近づかないこと
- ・治安が悪いと感じる瞬間はなかった

### 4) その他次年度参加者へのアドバイス

- ・メモをしっかりと取っておくと、最終のプレゼンテーションの時に役に立つ
- ・大きく成長できるプログラム内容となっているので、積極的に参加して欲しいと思う
- ・携帯をあらかじめSIMフリーにしておくといい
- ・ファブリーズ以外はコンビニで購入できる。PCは必須。
- ・いつ雨が降るかわからないので、常に傘は持ち歩く方が良い

- ・ 個人的には現金よりも ATM でお金をおろせるように準備しておいた方が良いと思う

## 8. プログラムを総合的にみて

- ・ 積極的に英語で質問できるようにしておくべき
- ・ 異文化に興味がある人は是非参加した方が良い。日本との違いに戸惑うことも多かったが、それ以上に普通の旅行では体験できない貴重な体験ができた。留学前に少しでもアカデミックな英語力を培った方がより良い研修になると思う。
- ・ 日本ではできないことが経験できるとても良いプログラムだと思う。何でも興味を持って挑戦して欲しい。